



～自他共に認め合い学び合う
夢と笑顔と潤いのある学校～
令和7年9月号

学校教育目標
主体的に学び合い
心豊かで たくましい生徒



川口市立^{かみね}神根中学校

〒333-0823 埼玉県川口市石神1515-1
電話 (048) 296-7025

努力・協力 ⇒ チームワーク力

校長 寺田 和成

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期がスタートしました。今年も猛暑の日々が続き、体調面が心配されましたが、校舎中に生徒たちの元気な声と活気が戻ってきて、大変嬉しく感じています。この夏休み中、大きな事故や病気、怪我等の報告もなく、子供たちが平穏で充実した生活を送ることができたのも、保護者や地域の皆様方のおかげと感謝申し上げます。また、ご多用の中、面談へのご協力、部活動へのご支援、さらには「カーテン洗い」や「お祭り見守り」などPTA活動につきましてもご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

さて、今年は体育館照明のLED化工事に伴い、特に体育館で練習する部活動にとっては活動場所の確保が難しく、練習会場への移動や遠征などが多くなってしまい、大変ご迷惑をおかけしました。そのような中でしたが、この夏休み中も部活動の県大会や各種大会、コンクールなど、たくさんの場面で神根中生の活躍する姿があり、大変嬉しく感じました。

「努力は足し算、協力は掛け算」という言葉があります。「努力は足し算なので、1の力でも地道に繰り返していくと、2や3へと一つ一つ着実に積み重なっていく。一方、協力は掛け算なので、2や3の力の人が複数いれば、4や6、8や9へと何倍にもなっていく。しかし、掛け算ゆえに協力しない0の人が一人でもいると、全体が0になってしまう。」このような意味だそうです。ただ、この考えでいくと1の力の人が複数協力しても全体は1のままですので、現状は変わらないことになります。ですから、1の力を2以上にしていくには、やはり一人一人の“努力の積み重ね”により、個を高めていくことが必要になります。

その“努力の積み重ね”については、「1.01の法則」という考え方があります。元のベースを「1」の力としたとき、1日1%努力すると翌日には「1.01」になり、さらに翌々日は1.01の1%上積みされるため、どんどん力がついていくという考えです。これを積み重ねていくと、1年後には約38倍の力がつくという計算になります。時間で考えますと、1日の1%は約15分ですので、毎日15分ずつでも努力し続けると、1年後にはかなりの力がつくことになります。

では逆に、毎日1%、時間でいうと15分ずつ無駄にし続けるとどうなるのでしょうか。実は「0.99の法則」という考え方もあるようで、1年後には約0.03倍になってしまい、元のベース「1」よりもかなり力が衰えてしまうそうです。あくまでも計算上のことで賛否はありますが、これは1日1%でも努力を積み重ねると大きな力になっていくという意味であり、逆に1日1%でも無駄にしてしまうと何も生み出さないという教えなのだと思います。

努力を積み重ねる個の集団だからこそ、個々が協力したときに相乗効果が生まれ、大きな成果を発揮するのだと考えます。そして、こうして高めたチームワーク力こそが、それぞれの集団を躍進させる原動力になっていくのだと感じます。2学期も市民体育祭、体育祭、水上自然教室、合唱コンクールなど、チームワーク力が求められる行事が数多く行われます。各学級、学年、部活動、そして学校全体でより高い成果を上げられるよう、これからも「チーム神根中」で取り組んでまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。